



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報

かみこあに

令和3年
1月号
No.744





新年のあいさつ

上小阿仁村長 小林悦次

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年を迎えたこととお喜び申し上げます。1年7か月ぶりに、再び村政にたずさわることとなりました。国県等とのつながりをもつておりますので、やりかけの事業についても早急に対応してまいります。

懸案となつておりました副村長には、秋田県議会事務局長（部長級）の恵比原史さんを、監査委員には元役場総務課長の鈴木義廣さんを提案させていただき、全議員の同意を得て就任となりました。

12月定例議会では、さつそく村民のみなさんからご要望のありましたインフルエンザの予防接種無料化や除雪事業費と補助金の引き上げをすることで、除雪の支援をすることとなりました。

年金生活者への支援については、福祉給付金制度を制定し、4月から支給することとしております。

合わせて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う第2弾の支援策として、給付金支給または商品券支給などの対応や制度資金の全額利子補給、そして、PCR検査の支援などを議会に相談しております。

村の総合計画が今年度で期限切れとなります。

年金生活者や移動手段のない交

通弱者のための対策を盛り込みながら人口減少を緩和していきます。人口減少の対応としては、産業を活性化し雇用の拡大を図つていくものであります。

村にたくさんあるものや、村にしかないものを利活用して、循環型の生産活動を進めることができます。将来につながるものと考えております。

村民のみなさんから要望や提案の多かつた保育園や診療所の建設、水力発電の調査、農林業の担い手確保のための事業、村有林経営、木材需要拡大のための施策、放課後児童クラブの無料化などを明記しながら、化石エネルギーから自然エネルギーへの転換によつて、国が進めていく脱炭素社会の構築に協力をしていくものです。

国は、2050年までに温暖化ガスの排出量を実質ゼロにする目標を掲げており、道筋を明確にす正在しておりますので、山が見直されています。

木の種類としては、杉による炭素蓄積量が一番多いという報告がありますので、村の杉の育成と活用によつて、地球温暖化や異常気象による災害の防止などに貢献していくものであります。

合わせて、萩形ダムの水利用が考えられます。

平成26年に萩形ダムの下に水力発電所が完成しましたので、小阿仁川に水がコンスタントに流れています。

この水は、八木沢の頭首工からトンネルを流れて、大錦地区で小阿仁川に落下して、発電がされておりました。

これらを再び利活用することで、発電ができれば村の雇用拡大につながつてしまります。

これまでに達成できなかつたこともいくつかあります。失敗しないための知識を持つていなかつたからだと思つております。

知識がなければ、知識のある人に教えてもらうこと、やれる人にお願いすることだと思つております。

ひとりの力は、小さいものです。が、ふたりになれば、二倍ではなく、三倍にも四倍にもなると確信しております。

村民のみなさんの力と知恵をお借りして「人にやさしい、健康で安心して生活できる村」を一緒に創つてまいりますので、ご支援とご協力をお願ひ申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、本年もより良い年となりますように、祈念して新年のごあいさつといった

新年のあいさつ

上小阿仁村議会議長 伊藤敏夫



新年、あけましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

村議会に対しましても温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

一昨年の12月、中国、湖北省にある大都市、武漢において急性呼吸器疾患が集団発生し、調査したところ、新型コロナウイルスが原因となつて引き起こされていることがわかりました。その後、この新型ウイルスは中国から世界へと広がり、世界保健機関がパンデミック（世界中に大流行する新種の疾患）を宣言するに至り、私たちの生活を一変させました。

このコロナ禍の終息に向、世界中でワクチンの開発が急ピッチで進められています。英國などはすでにワクチンの接種が始まっています。日本でも今年前半までに、全国民分のワクチンを用意すると報道がありました。一刻も早くワクチンの接種を終え、平穏な日

常が戻ることを強く望んでおります。

昨年の9月には秋田県出身者として初めて菅義偉氏（71）（湯沢市秋ノ宮出身）が内閣総理大臣に就任されました。

今後は「国民のために働く内閣を率い、新型コロナウイルスの感染抑止と経済再生の両立といった難題に取り組む」と話されていました。

一層のご活躍をご祈念申し上げます。

昨年10月に中田吉穂前村長が急逝されました。あまりに突然のこととで、我々議会も驚きと悲しみに絶えません。

中田前村長が公約としていた、移動販売車の運行が8月より始まりました。高齢化が進行し、車を運転して買い物に出かけることのできない人が、日々の生活に必要な食糧などの買い物が玄関先でできるようになつたことは、これら多くの村民に喜ばれることは間違ひありません。

改めてご冥福をお祈り申し上げ

ます。

新たに就任した小林悦次村長においては、長い間、空席となつていた副村長、監査委員も選任され、村政を担う体制づくりが進んでおります。村民の生活を守るため、村の課題解決に向け、さまざまなお意見に耳を傾け、新しい視点で効率的な行財政の運営をされることに期待しております。

私たち議会は、村政をより良い方向に向かわせるため、村民の声をしっかりと伝える使命があります。

本年も、開かれた議会を目指し、議会に対する関心を高め、なお一層努力する所存ですので、ご理解・

ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、新しい年が村民の皆様一人ひとりにとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

上小阿仁村副村長 及び監査委員の選任

12月17日に開催された12月定例議会において、副村長及び監査委員の人事案件が同意されました。

○副村長



えびはら ひと 史 氏

昭和62年に秋田県職員として採用され、平成27年からは企画振興部地域活力創造課長、鹿角地域振興局長、観光文化スポーツ部次長、秋田県議会事務局長を歴任しました。

○監査委員



すずき 義廣 氏
(大林)

令和2年12月25日～令和6年12月24日

昭和45年に上小阿仁村役場に採用され、住民課長、議会事務局長、総務課長、國保診療所事務長を歴任しました。

務課長、國保診療所事務長を歴任しました。

○任期

令和2年12月18日～

令和6年12月17日

上小阿仁村功労者表彰伝達式

12月22日、役場村長室で上小阿仁村功労者表彰の伝達式が行われました。各般の分野でご活躍された2氏の方々に対し、村長から表彰状と目録が贈られました。

【地方自治功労者】



すずき 信雄 氏
(大林)

農地利用最適化推進委員 が決定しました

永年にわたり、民生児童委員、上小阿仁村教育委員を歴任され、村政の発展に寄与されました。

欠員となつておりました、1名の農地利用最適化推進委員が決定しました。

任期は令和2年12月14日から令和5年7月19日までです。



おおざわ 秀高 氏
(下仏社)

◇平成20年1月～平成23年1月 行政協力委員
◇平成21年7月～平成24年9月 人権擁護委員
◇平成26年6月～令和2年3月 教育委員会評価委員
◇平成29年7月～令和2年3月 農地利用最適化推進委員

【教育民生功労者】



いとう つとむ 勉 氏
(沖田面)

◇平成19年12月～平成28年11月 民生児童委員
◇平成22年11月～令和1年12月 上小阿仁村教育委員
・表彰歴
全国市町村教育委員会連合会表彰
(令和2年)

12月21日、故中田吉穂氏への叙位式では「従六位」の位記と「旭日双光章」の勲記と勲章が、北秋田地域振興局の鶴田局長から長女の中田美穂氏に伝達されました。

12月21日、故中田吉穂氏への叙位・叙勳の伝達式が行われました。

(故)中田 吉穂 氏 従六位 旭日双光章



叙位・叙勳を受け取る中田美穂氏

みんなで仲良く、元気に披露 保育発表会



劇遊び おむすびころりん



ゆうぎ Make you happy

12月5日、かみこあに保育園の保育発表会が行われました。会場には園児たちの発表を楽しみに、家族が訪れました。

初めて、ゆり組男児が「今日はかみこあに保育園の発表会です。ゆうき、劇、歌を最後までお楽しみください」と元気な声でいさつし、発表会が始まりました。

園児たちは可愛らしい衣装に身を包み、音楽遊びや普段練習したゆうき、劇遊びなどを披露し、会場からは大きな拍手が送られました。



美味しいケーキができました



親子でクッキング！

12月12日、保健センター調理室において、ケーキづくり講座が行われ村内外9人が参加しました。

講師に上仏社の伊藤きみ子氏を招いて、手順を教わりながら、生地づくりやスポンジの焼き方、ケーキ用の特製クリームなどひとつ一つの工程を体験しました。

参加者は「簡単においしいケーキができたので、ぜひ家庭でも作りたい」と大好評でした。

秋田県知事表彰

1月4日、上小阿仁村消防出初式において、秋田県知事表彰などの伝達や辞令交付が行われました。
表彰受賞者及び辞令交付は次のとおりです。

秋田県消防協会大館北秋田支部長表彰	支部功労章
第三分団 副分団長 石上 敏	第三分団 副分団長 石上 敏

◆ 永年勤続章(20年以上)	◆ 永年勤続章(25年以上)	◆ 永年勤続章(30年以上)	◆ 有功章
第一分団 団員 団員 团員	第二分団 团員 団員 班長	第一分団 分団長 部	第一分団 副分団長 鈴木 清光
第三分団 团員 团員 团員	第三分団 团員 团員 班長	第二分団 团員 分団長	第二分団 第一分団 分団長
第三分団 团員 团員 团員	第三分団 团員 团員 班長	第一分団 团員 团員	第一分団 第一分団 分団長
武石 前田 大澤 齊藤	武石 北林 大澤 齊藤	田中 柴田 寛三郎 健一	高田 山田 鈴木 高田
丈善 永雄 信義	充 正 美	浩 光 雄 雅裕	優 恒 優 恒

◆ 昇格団員	◆ 機能別団員	◆ 新入団員	◆ 退職団員	◆ 辞令交付
第二分団 第三分団 班長	第二分団 第三分団 部長	第二分団 第三分団 団員	第二分団 第三分団 班長	第三分団 副分団長 石上 敏
第二分団 第三分団 班長	第二分団 第三分団 部長	第二分団 第三分団 団員	第二分団 第三分団 班長	第三分団 副分団長 石上 敏
第二分団 第三分団 班長	第二分団 第三分団 部長	第二分団 第三分団 団員	第二分団 第三分団 班長	第三分団 副分団長 石上 敏
前田 小林 伊藤 鈴木	武石 北林 武石 山形	田中 武石 鈴木 武石	田中 鈴木 齊藤 武石	前田 山田 金満 和男
丈善 武政 喜彦 敏繁	忠夫 武夫 典明	悟 忠夫 武夫 健一	雅裕 雅裕 主計 悟	和男 健一

上小阿仁村消防団員 永年勤続等表彰 受賞

12月定例会

行政報告要旨

令和2年度補正予算について

令和2年度一般会計補正予算は、
バス路線維持費など総額370万1
千円の追加補正で、補正後の総額は
28億4498万9千円となります。

前村長故中田吉穂氏の叙位・叙勲について

10月13日に亡くなられた中田吉穂
氏に対し、従六位および旭日双光章
が授与されました。

故中田吉穂氏の生前のご功績に対
し、敬意を表しますとともに心から
ご冥福をお祈りいたします。

買い物弱者支援事業(移動販売)について

8月8日からスタートした移動販
売車「こあに力ー」が、運行開始か
ら3カ月を経過しましたが、需要調
査時の171世帯から口コミによつ
て、現在では218世帯に増加して

おります。

また、第二の目的である高齢者の
見守りについては、57世帯を訪問し
て声かけを行っています。

今後も安心して暮らせる生活環境
を整えるとともに、地域の見守りネ
ットワーク、地産地消の促進に努め
てまいります。

消防・防災関係について

11月1日から11月7日まで秋の火
災予防運動が実施され、消防団員に
による火災予防啓発チラシの配布や、
消防車による巡回広報を実施してお
ります。

運動初日となる11月1日には、大
阿瀬地区での協力のもと防災訓練を
実施いたしました。

今回の訓練には、大阿瀬集落住民、
消防団員など関係者を含め約80人が
参加し、火災を想定した集落住民に
よる119番通報と消火器による初期
消火、消防団員の中継送水による
消火活動など、実効性のある訓練を
実施しております。

多くの方に利用していただけるよ
う、広報等での周知活動に努めてま
ります。

戦没者追悼式について

昨今の新型コロナウイルス感染症

事情により令和2年度上小阿仁村戦

没者追悼式を中止し、上ノ岱スポー
ツエリアにある忠魂碑への御参りを
少人数で行っています。

戦後75年を経て恒久平和の誓いの
もと、齊藤幸雄遺族会会長と遺族会
評議員の合わせて5名が参拝し、上
小阿仁村関係戦没者205名あまり
の英靈の遺徳を偲び、黙とう、献花
を行いました。

戦争に尊い命を捧げた戦没者のご
冥福をお祈りいたします。

高齢者世帯等除雪事業について

平成23年度から実施しているこの
事業は、高齢者等の冬期間における
生活の安全と、費用負担の軽減を目
的に実施しております。

今年度からは、助成額を拡充し、
除排雪に要した費用の3分の2の額、
8万円を上限として補正予算に計上
しており、対象除雪費を6万円から
12万円としています。

多くの方に利用していただけるよ
う、広報等での周知活動に努めてま
ります。

環境衛生について

10月18日に秋の全村一斉クリーン
アップを実施したところ、430kg
のごみが回収されました。早朝から
ご協力いただいた皆様に感謝申し上
げます。

この活動で、村内の清掃と住民の
環境美化に対する意識の高揚が図ら
れたものと考えております。

インフルエンザ予防接種の助成について

昨年までは、1回の予防接種につ
き、乳幼児から中学生までは2千円、
65歳以上の高齢者には1500円を
助成しておりましたが、今年度から
新たに妊娠へ2千円、16歳から65歳
未満の方へ1500円の助成をする
こととしておりました。

この度これを更に拡充し、全村民
のインフルエンザ予防接種料を全額
助成したいと考えております。

接種者の負担軽減を図り、接種率
をアップさせることで、インフルエンザの流行が予防できるものと期待
しております。

健康・福祉関係について

11月4日には、北秋田市消防署上小阿仁分署、上小阿仁村社会福祉協議会のご協力のもと、一人暮らしや高齢者世帯を対象に、火災予防訪問指導を実施いたしました。

11月5日には、80歳以上の一人暮らし世帯・高齢者世帯を対象に、栄養改善の普及、冬季に向けての声掛けを目的とした「高齢者ふれあいお弁当配達」を実施しております。

稲作状況について

農林水産省及び東北農政局が公表した本年稲作の作況指数は、秋田県全体で105の「やや良」となつており、県北地区でも同じく105の「やや良」となつております。

平成30年産より国による作付配分が廃止され、農家が自主的に判断して作付けする3年目となりましたが、これからも関係機関と連携しながら情報提供に努め、稲作農家が不利益とならないよう努めてまいります。

有害鳥獣捕獲について

今年度の有害鳥獣捕獲はツキノワグマ20頭で、前年と比較して9頭の

増でした。

県内ではイノシシやニホンジカの被害も年々増加しております。

これら有害鳥獣の生息域は拡大しているようであり、村においても出没の情報を基に調査した結果、4頭のイノシシが確認されております。今後、被害予防のための情報収集と対策を進めてまいります。

学校教育関係について

9月5日から3週にわたって、大館北秋田中学校新人総合体育大会が行なわれました。

野球部は、阿仁中学校・成章中学校との合同チームで、国際情報・下川沿中学校チームと対戦しましたが、惜しくも敗れました。

陸上競技部は、1名が全県大会の出場権を獲得しました。

女子バスケットボール部は、森吉中学校との合同チームで、順調に勝ち上がり、決勝で合川中学校を破り優勝しました。

10月14日に、令和3年度の小学校入学予定者8名（男5名、女3名）

に対する、就学時健康診断が小学校で実施されました。

就学予定児童には、聴力検査・視力検査・言葉の検査・知能検査等が行なわれ、保護者には学校と教育委員会から、入学までの準備や家庭で心掛けてほしいことについてお伝えしました。

11月7日と8日に大館市で行なわれた、第48回大館北秋田ミニバスケットボール大会で森吉・上小阿仁チームが、決勝で上川沿小学校を破り優勝しました。

27日、患者数601人、1日平均患者数は23人となつており、昨年と比較して1日平均で1人増となつておきました。

10月14日に秋のスポーツデーが行なわれ、たくさん的人に参加していました。

開会式とラジオ体操の後で、ウォーキングやボッチャ、村長杯グラウンドゴルフ大会などが行なわれました。

11月20日に、綱引大会がトレーニングセンターで行なわれました。小・中学生5チームが参加して、大きな声援を受けながら熱戦を繰り広げました。

力してまいります。

今後とも地域住民の健康を守る医療機関として、より一層の経営努力を進めてまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

医科外来が診療日数141日、患者数3990人、1日平均患者数は29人となつており、昨年と比較して1日平均で1人減となつてあります。

歯科は診療日数128日、患者数586人、1日平均患者数は5人となつており、昨年と比較して1日平均では同数となつてあります。

586人、1日平均患者数は5人となつており、昨年と比較して1日平均では同数となつてあります。

医科外来のうち毎週月曜日診療の泌尿器科につきましては、診療日数27日、患者数601人、1日平均患者数は23人となつており、昨年と比較して1日平均で1人増となつておきました。

訪問診療につきましては、現在4件の訪問を実施しております。

また、10月から開始したインフルエンザ予防接種は、確保したワクチンが予約数に達したため受付を終了しておりますが、ワクチン確保に努力してまいります。

今後とも地域住民の健康を守る医療機関として、より一層の経営努力を進めてまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

国保診療所関係

4月から10月までの診療状況は、